

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
Illustrator演習 Exercise in Illustrator		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟2階	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
Adobe Illustrator (アドビイラストレーター) は、グラフィックデザイナーや印刷業界のプロフェッショナルユーザーやビジネスユーザーが利用しているグラフィックソフトである。この授業は、Adobe Illustratorの基本的な操作方法について演習を通じて学ぶ。				
授業の目標				
①画面の各部名称と役割を説明できるようにする。 ②パス、アンカーポイント、セグメント、コーナーポイントの役割を説明できるようにする。 ③ペンツールで連続直線、直線クローズパス、曲線クローズパスを描けるようにする。 ④アンカーポイント、コーナーポイントを調整し、描きたい曲線を描けるようにする。 ⑤図形ツールで様々な図形を描けるようにする。 ⑥グラデーション、クリッピングマスク、整列、レイヤー、オブジェクトの重ね、オブジェクトの回転を活用できるようにする。				
授業の方法				
①新しい章の前にその章でのねらいや注意点を説明する。その後、自学形式で演習をすすめる。 ②理解度の確認を3回実施する。 ③15回目の授業で、課題の提出がある。				
学習の成果(学習成果)				
①授業の目標②③を達成すると、ペンツールで基本的な図形を描くことができる。 ②授業の目標④⑤を達成すると、ペンツールと図形ツールで様々な図形を描くことができる。 ③授業の目標⑥を達成すると、見本を見ながら第三者が納得する作品を描くことができる。				
学習の成果①②③を習得すると、履歴書にIllustratorを学習したと書くことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (学習成果、成績評価)			
第2回目	Illustratorの画面の各部名称    パネル操作    取り消し操作    やり直し操作    新規ドキュメント    円を描く 描く    ファイルの保存    A (PP. 12-23)			
第3回目	鉛筆ツール    クローズパスとオープンパス    線の色と塗りの色    文字入力 (フォントや大きさの変更、色の変更)    スウォッチの役割    イラストを配置    オブジェクトの回転    A (PP. 24-49)			
第4回目	文字のアウトライン化    文字の色をグラデーション    トリムマーク    ガイド    整列パネル    クリッピングマスク    オブジェクトの重ね順    下絵を配置    レイヤー    A (PP. 50-81)			
第5回目	これまでのまとめ			
第6回目	【理解度の確認1と解説】			

第7回目	ペンツールで線を描く 1 B(1-1~1-7)	
第8回目	ペンツールで線を描く 2 B(1-8~1-14)	
第9回目	ペンツールで線を描く 3 B(1-15~1-20)	
第10回目	【理解度の確認 2 と解説】	
第11回目	線を修整する 1 B(2-1~2-7)	
第12回目	線を修整する 2 B(2-8~2-14)	
第13回目	【理解度の確認 3 と解説】	
第14回目	色々な機能を使ってイラストを描く（落書き感覚で描くリンゴ、レトロな自転車、ハートのクローバー、もふもふのクマ） C(PP. 38-61)	
第15回目	課題提出	
事前・事後学習	事前：なし。事後：授業で終わらない演習は必ず次回授業までに終了すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	30%	15回目の課題提出が該当する。満点となる条件は「指定された機能を使い指定された図形を描く」である。
調査報告書		
小テスト	70%	理解度の確認が該当する。試験1つあたりの配点は70点/3である。満点となる条件は「指定された機能を使い指定された図形を描く」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：別途指示する。		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる。		